

第 5 節 本市の現状から見えてきた重点課題

1 本市の現状

本市の現状（主なもの）をまとめると、次のとおりとなります。

- 年齢階級別人口の推移をみると、85 歳以上の人口が 2020 年から 2040 年の間で 2.2 倍に増加することが見込まれる中、「15-64 歳」の人口は、同期間において約 3 割減少することが予想されます。本市の 85 歳以上の人口増加率及び「15-64 歳」の人口減少率は、全国的にも高いこととなります。
- 世帯の状況をみると、2000 年から 2020 年の間で、高齢独居世帯は 4.7 倍、高齢夫婦世帯は 4.0 倍に増加しています。また、2020 年時点で、高齢独居世帯は総世帯の 13.1%を、高齢夫婦世帯は 14.6%を占める状況にあります。
- 要支援・要介護認定率は、全国の平均値及び埼玉県の平均値を下回る水準にあるものの、2013 年 3 月末から 2023 年 3 月末までの間に 2.2 ポイント増加している状況にあります。
- 2021 年 12 月末時点の要支援・要介護認定者のうち、認知症高齢者の占める割合は 5 割を超えています。本市では、2020 年から 2040 年にかけて、認知症の出現率が高い 85 歳以上人口が約 2.2 倍に増加する見込であるため、認知症高齢者が増加することが予想されます。

2 本市の重点課題

本市では、85 歳以上人口の増加に伴う要介護者の増加の現状から、次の 5 つの事項が重点課題となります。

- 1 要介護者数の伸びを抑えるための対策の強化（介護予防・重度化防止）
- 2 多様化する生活支援ニーズへの対策強化（支援者の確保、独居対策）
- 3 認知症の人との共生および予防の推進（社会参加の促進・役割の確保）
- 4 要介護 3 以上の人への支援体制の強化（訪問系サービスの体制整備）
- 5 介護人材の確保と直接ケアへの重点化（4 と関連）